

< 令和7年度四極会日田支部総会・四極会発足100周年記念祝賀会 >

令和7年11月28日（金）に三浦洋一四極会会長、松隈久昭経済学部教授ご臨席のもと、日田市南元町のボンジョルノ食堂「グローブ」で令和7年度日田支部総会、並びに四極会発足100周年記念祝賀会を開催した。支部会員の他、日田に赴任中の行政・金融機関等会員含め総勢15名の参加となった。

中野哲朗支部会員（大47）の進行により支部総会が行われ、はじめに物故者へ黙祷を捧げた。佐藤学支部長（大34）からの開会の挨拶の中では、本部による参加費助成へ謝意が伝えられた。来賓挨拶として、三浦会長からは高商から現在に至る四極会の歴史、活躍する同窓者の紹介などがあり、支部活動継続のあり方として工夫や形態は様々考えられるが100年続いた四極会を経済学部の後輩たちにつないでいくことが重要である、と強調された。松隈教授からは、経済学部が一学科6コースとなったこと、卒業生の多額の寄付金を基に設立した奨学基金を活用して毎年10～20名の学生が海外留学していることなどの現況や、大学ホームページ掲載の「大分大学75年史」の紹介があった。

議事に移り、事務局から令和6年度の事業報告、会計報告について資料に沿った説明があり承認された。

記念撮影に引き続いての懇親会は、小野智宏大分銀行日田支店・若宮支店長（大43）の発声による乾杯で始まり、和やかな雰囲気の中、各会員からの自己紹介、寮歌、逍遙歌、校歌の熱唱の後、最後は定番となった梶原秀一副支部長（大34）による日田式の締めで、盛会のうちに閉会を迎えることができた。

なお、「四極」は富安大二郎支部会員（大59）の実家であるクンチョウ酒造製。

また、会場となったグローブは、日田市出身の漫画家諫山創さん作の「進撃の巨人」関連のメニューや展示物がたくさんあり、国内外の「進撃の巨人」ファンの来店が多く、貸切イベントなども開催されるなど、一聖地となっている。

参加者（敬称略）

大分大学経済学部教授 松隈 久昭
三浦 洋一（大24）、森崎 郁朗（大33）、大園 広子（大34）、
佐藤 学（大34）、梶原 秀一（大34）、佐藤 正明（大40）、
小野 智宏（大43）、阿孫 正明（大44）、上田 慎司（大46）、
中野 哲朗（大47）、冷川 和永（大52）、後藤久美子（大57）、
安藤 大貴（大64）、伊藤 照幸（院40）

森崎郁朗（大33）：記

